



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

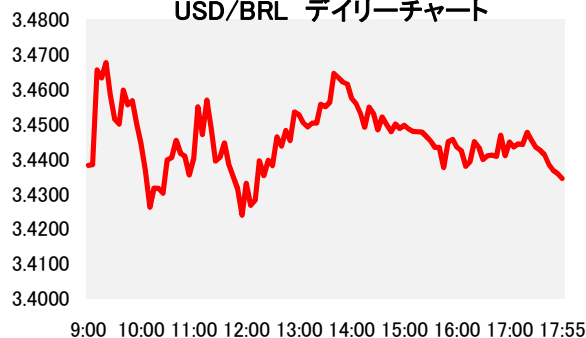
			11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1680	3.2250	3.3930	3.4020	3.4340	+0.0320
	BRL/JPY	Spot	33.15	32.81	31.46	31.38	31.59	+0.21
	EUR/USD	Spot	1.1033	1.0931	1.0890	1.0848	1.0725	-0.0123
	USD/JPY	Spot	105.03	105.84	106.84	106.77	108.52	+1.75
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.149	13.086	13.223	13.271	13.313	+0.042
	Future	1Year(p.a.)	12.339	12.312	12.433	12.507	12.610	+0.103
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.154	2.170	2.171	2.195	2.386	+0.191
	USD	1Year(p.a.)	2.349	2.319	2.390	2.595	2.717	+0.122
株式	Bovespa指数		64098	63258	61578	59184	59657	474
CDS	CDS Brazil 5y		264.88	273.97	315.37	320.30	325.67	+5.38
商品	CRB指数		183.552	183.989	183.334	180.740	180.255	-0.49

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

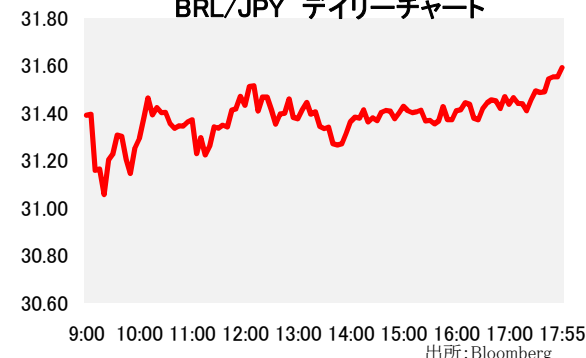
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	\$1121m	\$320m

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

カプラン・ダラス連銀総裁	FEDは近い将来に緩和を幾らか解除するだろう。緩和の解除は慎重かつ辛抱強い方法で行うべき。
--------------	---

4. トピックス

- 海外市場でエマージング通貨が下落したことを受けて、本日のレアルは先週引け値から約1%レアル安の3.4330で寄り付き、直後に日中安値3.4720を示現した。伯中銀が前日に引き続きドル売りポジションのロールオーバーを7.5億ドル行ったことを受け、レアルは日中高値3.4230まで急反発した。しかし、祝日を明日に控えて市場参加者が限定的となる中で方向感に乏しい展開となり、以後は3.42から3.46のレンジ内取引に終始。結局3.4340でクローズ。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2016年のGDP成長率予想が▲3.31%から▲3.37%へ6週連続で引き下げられた。2017年予想は1.20%から1.13%へ4週連続の引き下げとなった。インフレ率予想は2016年末が6.88%から6.84%に下方修正され、2017年末予想も4.94%から4.93%に引き下げられた。政策金利予想は2016年末が13.50%から13.75%に引き上げられ、2017年末は10.75%で不変だった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお問い合わせ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。